

横越町体育協会 創立30周年記念式典

金メダリストを招き記念講演も



若ければ栄光ありし、老いば悔い。日本体育大学教授 森田 淳悟氏

11月23日、横越町体育協会創立30周年記念式典がサンウイング横越にて開催されました。

同協会は、昭和49年4月2日、住民のスポーツ活動の振興とスポーツ団体の連絡調整を図る目的で設立され、スポーツを通じて青少年の健全育成、社会人や高齢者などのレクリエーションとしてのスポーツ振興などに取



森田 淳悟氏

り組んできました。

式典に先立ち、ミュンヘンオリンピック金メダリストで、世界のバレーボール界に大きな影響を与えた森田淳悟氏（日本体育大学教授）から、「若ければ栄光あり、老いば悔い」と題して記念講演が行われました。自身の選手時代の厳しい練習や、指導者になってからの生活などを振り返りながら、努力することの大切さを述べ、最後に「地元を代表する素晴らしい選手を皆さんの手で育て上げてください」と講演を閉じました。式典では、町体育協会の柴澤文雄会長から「選手・指導者の皆さんのご努力によって協会は発

新鮮な地元農畜産物がいっぱい 第26回農業まつり

11月28日、役場正面駐車場会場に、第26回横越町農業まつりが開催されました。

この農業まつりは、町内産の農畜産物をアピールするとともに安く販売し、生産者と消費者が収穫とともに祝う毎年恒例のイベントです。

長いもやゴボウ、白菜、キャベツ、大根、ネギなどの新鮮な越冬野菜、甘くておいしい新興

展してきました。長年の苦勞に感謝いたします。さらなる前進のため、皆様のご支援ご指導をお願いいたしますとあいさつ。来賓として浅見町長から「町のスポーツ普及、青少年の健全育成に貢献してきた協会の果たした役割は大変大きい。地域発展のために今後もご協力をお願いします」と祝辞が述べられました。

また、協会から、スポーツ振興に積極的に協力してきた町内3企業・団体に感謝状が贈呈され、また、これまでスポーツの振興に功績のあった23人の指導者には表彰状が手渡され、長年の努力を労いました。



多くの人たちが賑わった会場



おいしいお肉の横越ポーク

梨とル・レクチェ、きのこ、横越ポーク、牛乳・チーズなどの乳製品、梨を使用したジュースや焼肉のたれなどの農産物加工品、阿賀野川で採れた鮭、カニなどが所狭しと並びました。袋いっぱい買い求め会場をあとにする人の姿も多く見られ、早々と品切れとなる場面もあるほどの盛況ぶり。



地元の食材にこだわったあつあつの横越鍋

子どもの心を考えながら 親子のコミュニケーションについて考える 第6回教育シンポジウム

12月4日、サンウイング横越において、町連合PTAと町教育委員会の主催により、第6回横越町教育シンポジウムが開催され、小中学校の教職員や保護者、青少年育成会の役員など約70名余りが参加しました。

親業シニアインストラクターの渡辺裕子氏を講師に招き、「子どもに愛が伝わっていますか?」「親業」親子のコミュニケーション法を学ぶ」を演題に講演が行われました。

渡辺氏は、「聞く」「話す」「対立を解く」をキーワードに、子どもの様子の変化に常に注意を払い、話に耳を傾けること、親から子



「聞く」「話す」「対立を解く」をキーワードに、子どもの様子の変化に常に注意を払い、話に耳を傾けること、親から子

どもへの話し方を工夫すること、話し合いによって親子の関係を良くしていくことの大切さを説明。また、参加者2人1組で親役と子ども役になり、「子どもの様子から、いじめられているらしい」という場面を想定して自分なりの親子の会話を実践。それぞれの会話の問題点を挙げながら、「子どもの気持ちになったコミュニケーションが大切だ」と述べました。

その後、同じような学年の子どもを持つ保護者ごとに8グループに分かれ、子どもに対する各家庭の現状や接し方などについて、講師からアドバイスももらいながら話し合いました。親子の関係が希薄になりつつある現代社会において、再び親子の心をつなぎ止めようと、参加者たちは講師や他の保護者の話に、真剣に耳を傾けていました。

街頭指導・事業所訪問で 交通事故防止を訴える! 年末の交通事故防止運動

忘年会等による飲酒運転の増加、積雪・凍結等による道路環境の悪化などによって交通事故の増加が予測されることから、12月11日から12月31日まで「年末の交通事故防止運動」が実施され



ました。運動の重点は、飲酒運転の追放、高齢者の交通事故防止、運転中の携帯電話の使用禁止です。

12月13日、交通安全指導員、新潟南警察署、交通安全母の会、

ライオンズクラブなど約40名が参加して、川根町の県道水原亀田線(旧国道49号)で交通安全街頭指導所を開設。寒風吹きすさぶ中で、通行する車両一台一台にチラシ等を配布し、安全運転を呼びかけました。

また、15日には、横越・沢海駐在所、町安全運転管理者協会や町交通安全協会、交通安全指導員など30名ほどが町内の事業所や飲食店を訪問し、「飲酒運転をしない、させない」と呼びかけたほか、町内の巡回パトロールによって交通事故防止を訴えました。

観客たちとともに歌う喜びを味わう 合唱団のぎく第4回コンサート

11月23日、中央公民館で合唱団のぎく第4回コンサートが開催されました。

合唱団のぎくは、平成5年に開催された「共に生きるコンサート」を機に結成され、11年の歴史を持つ混声合唱団です。毎月第1・第3土曜日に練習を行っています。

メンバーは皆、今までの活動を振り返り、今後のさらなる飛

躍を目指してコンサートに臨みました。

コンサートは3部構成となっており、誰もが聴いたことのある曲からオリジナル曲まで全17曲を歌い上げ、心のこもった歌声を披露。また、観客も一緒に歌って歌える曲も用意され、聴き入っていた聴衆も一緒に歌い、会場いっぱい大きな歌声と拍手が響きました。